

# 課題改善カリキュラム【図画工作・技術・美術科】

練馬区立大泉第二中学校・大泉第二小学校・大泉南小学校

課題		研究テーマ		
小中において、鑑賞授業の実践に差があった。		 感じ取るよろこび、つながる楽しさ ～鑑賞活動を通して～		
学習期		身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	カリキュラム改善の視点
中学校	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学年の学習をさらに発展させ、美術作品などにより深く向き合い、自分の価値意識を持って批評し合い、より一層の主體的、対話的で深い学びを行わせる。主題と表現の工夫を関連させ、作品の良さをより深く感じ取らせる。</li> <li>・動植物や自然物、四季、自然現象や身近な環境の中に見られる造形的な美しさを感じ取り、心豊かにする造形(美術・技術)の働きについて考えさせ、見方や感じ方を深めさせる。</li> <li>・日本の美術や文化の特質を学び、日本に対する理解と愛情を深め諸外国との相違に気付き、工芸や美術文化を学ぶことにより、美術・技術を通した国際理解や文化・芸術の継承と創造へ関心を高め、自己の進路や将来と関連させながら主体的で深い学びに発展させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図版や図録または、ビデオ、コンピューターなど映像を使い、効果的に鑑賞指導を進め、作品の形や色彩に着目し、造形的視点から良さや美しさを感じとれるように、自分の見方や感じ方を記述し、お互いに発表する。</li> <li>・自然や身の回りの環境などを鑑賞の対象とし、造形的な視点を持って生活を美しく豊かにする美術・技術の働きについて改めて気付き、社会生活の中で美術・技術が人間にどのように役立っているか、自分の価値意識を基に、改めて気づく。</li> <li>・日本や諸外国の美術、技術・工芸、文化遺産等、概括的な変遷を学び、それぞれの時代の特徴などを、文化的背景も考えながら比較検討するなどして、良さや美しさを感じ取らせ、自己の将来と関連させながら、主体的に考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工芸・美術・技術等の造形物や、お互いの作品の鑑賞を通して、形や色彩の造形的要素を感じ取り、自分の考えをもって主体的、対話的で深い学習が出来るように指導する。</li> <li>・自然や身近な環境の中に、造形的な美しさを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術・技術の働きについて深く理解できるようにする。</li> <li>・日本および諸外国の美術・技術等の作品を通して、文化の相違と共通性に気付き、国際理解を深め、日本文化の継承と創造への関心を高める。</li> </ul>
	2年			
	1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の造形や美術・工芸作品、また、文化遺産などについて造形的な良さや美しさを感じ、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</li> <li>・身近な地域や日本および諸外国の美術文化の良さや美しさを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図録やビデオ、コンピューターなどを使い自然の造形や人工物、文化遺産、工芸作品や芸術作品を提示し、様々な作品の内容や表現方法などから、作者の心情や意図、美しさを、自分の感覚や印象を基に、対話などを通して説明し合い、自分の考えも伝え、また、自分にはない新たな見方捉え方もあることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の作品や文化遺産、自然物・人工物、芸術作品や工芸作品等について、良さや美しさを感じ取り、主体的・対話的な活動を通じて、自分の考えを相手に伝えることができるようにする。</li> </ul>
小学校	6年	親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A表現とB鑑賞の指導について相互に関連を図るため、制作途中に友達の作品をお互いに触れられるようにしたり、材料の置き場の位置を工夫したりすることで、常に鑑賞ができ、お互いの作品の良さを感じ取れるようにする。作品の製作の過程で一律に形式的な相互鑑賞は設けない。これは、造形活動の広がりや表現の意欲の高まりを妨げないようにするためである。</li> <li>・ただテーマをもとに自分の表現をするのではなく、鑑賞から導入することで自分の主題を思いつきやすくしたり、イメージを広げられるようにしたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かな雰囲気をつくり、思ったことを発言しやすいようにする。</li> <li>・ワークシートを活用し、自分の感覚や考えの深まりに気付けるようにする。</li> </ul>
	5年			
	4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの作品や身近にある美術作品や制作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ることができる。</li> <li>・感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象に親しみをもち理解を深めたり高め合ったりするために、鑑賞活動に友だちとの交流を加え、それぞれのイメージの違いやおもしろさを発見したり味わったりする。</li> <li>・自分たちで鑑賞するカードを作ることから行い、作者の意図と観る側の感じ方の違いの面白さも味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの感じ方を伝え合い、感じ方の違いを楽しむ経験を多くさせる。</li> <li>・形や色は様々なイメージをもっていることに気付かせる。</li> <li>・自分や友だちの考えを尊重し合い、お互いの意見を共有できるようにさせる。</li> </ul>
	3年			
	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの身の回りの作品や材料などを楽しく見たり、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に名前を付けたり、発見、感動したことを書くことで意識させるためのカードを作ったりし、機会を見つけて自己評価をさせる。</li> <li>・互いの工夫などを話し合ったり発表したりする場を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友だちの作品を見て感じたことを話したり書いたりする機会をつくる。</li> </ul>
	1年			